



日本代表として大舞台を経験した福島さん

輝いています

2016リトルシニア全米選手権大会 優勝

ひと

ふくしま とう
福島 豪 さん

For The Team で勝利に貢献

先

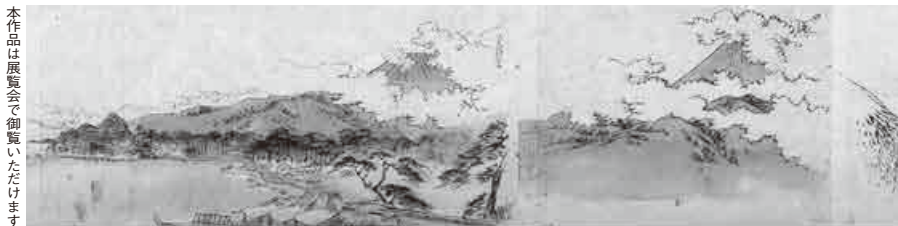
月、待ジャパンの活躍に日本中が大いに盛り上がったワールドベースボールクラシック。その遡ること8か月、中学生の日本代表がアメリカの州代表やプエルトリコ、ブラジルなど32チームが参加した全米選手権大会で優勝したことをご存じですか。そのチームの一員として攻守に活躍したのが、この春、第一中学校を卒業した福島豪さん（15歳・中央2丁目）です。福島さんが野球を始めたのは5歳の頃。入団した地元チームは体格の勝る年上ばかりでしたが、負けず嫌いで毎日素振りをおかしませんでした。中学生になると、都内の硬式野球チームに入り、より

高いレベルで技術を磨いてきました。そうしたなか、一つのミスで試合に負けた苦い経験から、単純なプレーこそ確実にやることを徹底し、打撃面の堅実さと外野の守備に定評を得た福島さん。監督からも「大事な場面で頼りになる」と、太鼓判を押され、日本代表18人のうちの一人に選出されるまでになりました。大会での最大の見せ場は4戦目の3回表です。得点は0対1、なおもランナー2塁のピンチに相手打者の当たりはフェンスに届きそうなる大飛球。センターの福島さんは即座に俊足を飛ばし、みごとなジャンピングキャッチでこの窮地を救いました。これで流れが変わり、逆転勝利。その後もチームは勢いに乗って勝ち進み、決勝でも福島さんのスクイズなどで8点を上げ、ついに栄冠を勝ち取ったのです。4月から部員120人以上の強豪校に進学し、新たなスタートを切る福島さん。これまで以上の努力で「高校、大学でもレギュラーをつかみたい」と、闘志を燃やします。世界で戦った経験と献身的なプレーでチームを勝利に導き、甲子園球場や神宮球場の観衆を沸かせてくれることでしょう。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 巖にあり

— No.11 —



暁翠筆「大磯・静浦遊覧画巻」部分
紙本淡彩 巻子

河鍋暁斎記念美術館
「暁斎・暁翠 旅と風景」展
期間=4月25日(火)まで

開館 = 午前10時～午後4時 休館 = 木曜日
毎月26日～末日 ところ = 南町4-36-4
入館料 = 一般320円 中学生～大学生210円
小学生以下105円 詳細 = 同館 (☎441・9780)
(20人以上の団体は要予約)



展示会の詳しい
内容は美術館の
ホームページを
ご参照ください

暁斎の娘・暁翠（1868～1935 日本画家）による旅の写生をまとめた画巻です。幅10・4寸の小さな画巻ですが、大磯や沼津の静浦港の風景が長さ6尺にわたり収められています。富士の脇に「八月三日」と記してありますから、夏の盛りに暁翠が写生したのでしょう。画巻には遠くに望む富士山と続く山肌、そして「ワシ津山」と記された半島の中で最も高い鷲頭山、雲をまとう富士山と、静浦海岸から富士を仰ぐ風景が続きます。広がる景色の中、山の木々や富士を覆う雲が、暁翠の繊細な筆づかいで表されています。



現在の茨城県古河市で生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 暁斎
天保2年(1831)
～明治22年(1889)